

若年者就職支援施設「ヤングジョブプラザあおもり」のオープンについて

青森県知事 三 村 申 吾



平成24年4月1日、青森県の3つの若年者就職支援施設を一体的に運営する「ヤングジョブプラザあおもり」が本格オープンいたしました。

東日本大震災や急激な円高の影響等により、厳しい雇用情勢が続く本県においては、ハローワークの全国ネットワークを活かしながら、国と県とが互いに協力して、雇用対策を進めていくことが大変重要であると考えています。

中でも、県外求人的大幅な減少により、特に厳しい状況下におかれている若年求職者の就職支援機能を、より一層強化する必要があるとの思いから、「若年者就職支援施設の一体的運営」について国に提案させていただき、都道府県としては全国で初めてとなる、「ハローワークとの一体的運営」を開始しました。

「ヤングジョブプラザあおもり」では、「ジョブカフェあおもり」、「ハローワークヤングプラザ」及び「青森県若者サポートステーション」を一体的に運営するために、総合案内窓口を設置し、3施設で集中的に就職を支援する「チーム支援」などを新たに実施しています。

一体的運営のメリットを最大限に活かし、本県の未来を担う若者が、一人でも多く就職できるよう、今後とも全力で取り組んでいきたいと考えています。

「岐阜県総合人材チャレンジセンター」での 一体的実施事業の実施について

岐阜県知事 古田 肇



岐阜県では、平成16年度に現在の「岐阜県総合人材チャレンジセンター(愛称:ジンチャレ!)」を開設し、若年者を中心とした求職者への就労支援を積極的に行っています。平成23年度末には、一体的実施事業運営協議会を岐阜労働局と岐阜県で設けて、同センターにおける一体的実施事業を進めています。

具体的には、同センターの県内3拠点(岐阜市内2ヶ所、多治見市内1ヶ所)全てのジンチャレ! 窓口にハローワークサテライト窓口を併設して、ハローワークの膨大な求人情報や各種助成制度、ジンチャレ! のきめ細かなカウンセリングや就職関連セミナーなど、それぞれ機関の得意分野でお互いの機能補完をしながら、求職者へのより良き支援体制の構築に努めています。

今後も、一体的実施事業のメリットを最大限に活用して、岐阜県の若年層を中心とする求職者と良い人材を求める県内企業等とのマッチングに全力で取り組み、ジンチャレ! を利用する求職者や求人企業等の皆様に少しでも多くの満足感を得ていただける様、努力して参ります。

”全国初の完全ワンストップ化”の実現

—「オール京都」体制（公・労・使）による「京都ジョブパークモデル」—

京都府知事 山田 啓二



京都ジョブパークは、平成19年に公・労・使の「オール京都」体制により設立し、就業から生活相談、生活再建までをワンストップでサポートする文字どおりの「総合就業支援拠点」です。

若年者、中高齢者など、それぞれの得意分野の担当カウンセラーによる、きめ細かい継続的なご支援で就業実現を目指す体制をつくっているほか、求職中で生活にお困りの方の就労と生活相談を一体的に行う「自立就労サポートセンター」、子育て中のお母さんへの就業と保育所探しなどの

育児支援を一体で行う「マザーズジョブカフェ」をはじめ、障害のある方の就労を支援する「はあとふるコーナー」、府内の中小企業等の人財確保を支援する「中小企業人財確保センター」、無料で労働相談を行う「京都中小企業労働相談所」など、就労に関するあらゆる支援を、ここ京都ジョブパークの一カ所でできる仕組みをオール京都体制で構築してきました。一方、ジョブパーク内のハローワーク・コーナーの機能が「職業紹介」に限られていたことから、雇用保険や職業訓練の手続きは住居地のハローワークに行っていたいただく必要があり、真のワンストップサービスができていませんでした。

そこで、ハローワーク・コーナーの機能強化による一体的実施を国に提案し、平成24年4月から全国で初めて、府内全域を対象として、雇用保険や職業訓練など就業に関するあらゆる手続きを含めた完全ワンストップ化を実現させるとともに、京都府自らも無料職業紹介権を再取得し、多岐にわたる求職・求人ニーズに対応した質の高い就業支援拠点としての体制を整えることができました。

このように何よりも大切なことは、国と自治体が府民の皆様のために互いに力を合わせて、より良いサービスを提供していくことであり、今後とも、利用者起点を基本とし、一体的運営のメリットを最大限に活かし、府民の皆様が安心・安定して生活・就業できるご支援を行えるよう、進化を続けていきたいと考えています。府民の皆様、是非京都ジョブパークをご利用ください。